



# M7.6の地震能登半島にて発生

連隊は、1月1日1627に第3種非常呼集を発令



令和6年1月1日午後4時10分ごろ、石川県能登半島を震源に発生したマグニチュード7.6の大地震。最大震度7の激しい揺れを観測、連隊は、4時27分に第3種非常呼集を発令、各中隊は直ちに出勤できるよう1月2日午前災害派遣準備を完了した。

## 出勤準備完了



# 能登半島地震災害の発災に伴い

人命救助のため、救助隊を石川県へ人員59名、車両13両を派遣



## 49連隊救助隊出発式



救助隊長 佐藤 3佐

連隊は令和6年1月2日、第10  
特科連隊第3大隊に配属、第1中  
隊長佐藤3佐を隊長とし救助隊59  
名車両13両を石川県の金沢駐屯地  
に向け出発した。  
連隊長は国民に安心・安全を自  
衛隊としての活躍を期待すると言  
葉を贈った。実際に北陸出身で被  
災した隊員も救助隊に編成されて  
おり、隊員は強い使命感を持って  
連隊隊員の送りの中派遣された。

# 使命感



第1中隊



第2中隊



第3中隊・306DS・衛生小隊



# よ く ゆ く

# 令和六年能登半島地震 災害派遣隊(第一派)活動開始

行方不明者の聞き込み開始



石川県輪島市町野町

輪島市町野町の被害状況



各小隊長の情報共有



行方不明者の情報を伝える救助隊長



行方不明者の聞き込み



ヘリによる生存者の移送



行方不明者の搜索



行方不明者の救出活動



移動困難者を避難所へ輸送



避難所への物資輸送



第4中隊長への引継ぎ



令和6年1月3日、第1中隊長佐藤3佐以下59名は、金沢駐屯地において活動準備及び情報収集を行い、同年1月4日、被災地(石川県輪島市町野町)に到着後、任務である即時救援活動を速やかに開始し、現場の警察及び消防と連携し、生存者の救出及び行方不明者の収容を実施した。  
同年1月6日、第4中隊長荒川3佐以下28名へ引き継いだ。

## 即時救援活動

# 令和六年能登半島地震 災害派遣隊（第三派） 即応予備自衛官活動開始

## 常即一体

49普連は、令和6年1月7日から17日の間、即応予備自衛官90名を招集し、石川県輪島市において物資輸送・生活支援物資の仕分け作業を実施。常備自衛官と即応予備自衛官が一体となって任務を完遂した。町野町では道路が破壊され車両が通れない地区で、徒歩により物資を届けた。また、大野町の海沿いの道路が崖崩れにより遮断された場所では海沿いの堤防上において被災者とともに物資をリレー運搬して避難所である鵜巣小学校に物資を届けた。

即応予備自衛官編成完結式

物資をリレー運搬

道路崩壊のため海沿いに物資運搬

徒歩により物資輸送

ヘリによる物資輸送

